

学術講演会

ドイツのエネルギー シフトがめざすもの

～脱原発と再生可能エネルギー推進～

北ドイツの主要都市 ハノーファーの反原発運動シンボル

2016年7月6日(水) 14:00～16:00

入場無料

申込不要

福島大学金谷川キャンパス M1 教室

【講演者】

在ドイツジャーナリスト
裁判所認定独日通訳

田口 理穂 氏

2022年の脱原発を決めたドイツ。ドイツのエネルギーシフトとは、いったいどういうもののでしょうか。エネルギーシフトのもたらしめるもの、また廃炉や核廃棄物など、ドイツの現状と課題についてわかりやすくお話していただきます。

講演者略歴

信州大学人文学部卒業後、地方紙記者を経て、1996年よりドイツ在住。ライプニッツ・ハノーファー大学卒業、社会学修士。

ドイツの環境政策を中心に、政治経済、生活全般について雑誌やネットサイトに幅広く執筆。著書に『市民が作った電力会社 — ドイツ・シェーナウの草の根エネルギー革命』（大月書店）、『なぜドイツではエネルギーシフトが進むのか』（学芸出版社）他。

お問い合わせ：人間発達文化学類 高橋 優 024(548)8137 yutakahashi@educ.fukushima-u.ac.jp